

郵便
報知新聞
第525号

新海の獄に啓助由蔵と云ふ西個の惡漢あり其共破牢せんと約束しつゝ由蔵の懲役多れ六十日よく出牢せし或夜風雨ふ來り紛まき長き棒の先小錦と出刃庖丁と結付之を便て堀堀と奔る獄に近き格子の内一件の品を差入るを潜し我等の寺町通眞宗寺の縁の下ふ忍び居りて速に來りて尋めと云て去まり然るに此日啓助の様子怪しと目付別人と入替りて其あそびを早速奸謀發覺て其夜一個の罪人体仕を彼処に遣ひ偽く由蔵を釣出し忽ち繩を掛けしやうの惡物巧を計ると云終る獄更な計なり

松林伯圖記



金鶴堂

大橋
元田彫長